

# JIS

## 銅及び銅合金中のすす定量方法

JIS H 1052 : 2024

(JCBA/JSA)

令和 6 年 12 月 20 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	松 橋 隆 治	東京大学
(委員)	安 部 泉	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	江 坂 行 弘	一般社団法人日本自動車工業会
	大 瀧 雅 寛	お茶の水女子大学
	木 村 一 弘	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	倉 片 憲 治	早稲田大学
	越 川 哲 哉	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	是 永 敦	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	椎 名 武 夫	千葉大学
	寺 家 克 昌	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	清 水 孝太郎	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社
	清 家 剛	東京大学
	高 津 章 子	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	高 辻 利 之	一般社団法人日本計量機器工業連合会
	田 淵 一 浩	一般財団法人日本船舶技術研究協会
	中 川 梓	一般財団法人日本規格協会
	久 田 真	東北大学
	廣 瀬 道 雄	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	星 川 安 之	公益財団法人共用品推進機構
	細 谷 恵	主婦連合会
	棟 近 雅 彦	早稲田大学
	村 垣 善 浩	神戸大学
	山 内 正 剛	国立大学法人信州大学
	山 田 陽 滋	豊田工業高等専門学校

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 59.2.1 改正：令和 6.12.20

官 報 掲 載 日：令和 6.12.20

原 案 作 成 者：一般社団法人日本伸銅協会

(〒110-0005 東京都台東区上野 1-10-10 うさぎやビル TEL 03-6803-0587)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-11-28 三田 Avanti TEL 050-1742-6017)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 松橋 隆治)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省イノベーション・環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 一般事項	1
5 定量方法の区分	1
6 メタスズ酸沈殿分離アルミニウム・ニッケル還元よう素酸カリウム滴定法	6
6.1 要旨	6
6.2 試薬	6
6.3 装置	8
6.4 分析試料のはかりとり量	9
6.5 操作	9
6.6 空試験	10
6.7 計算	10
7 ガレイン抽出吸光光度法	11
7.1 要旨	11
7.2 試薬	11
7.3 分析試料のはかりとり量	12
7.4 操作	12
7.5 空試験	12
7.6 検量線の作成	12
7.7 計算	13
8 ケルセチン抽出吸光光度法	13
8.1 要旨	13
8.2 試薬	13
8.3 分析試料のはかりとり量	14
8.4 操作	14
8.5 空試験	15
8.6 検量線の作成	15
8.7 計算	15
9 原子吸光分析法	16
9.1 要旨	16
9.2 試薬	16
9.3 分析試料のはかりとり量	17
9.4 操作	18
9.5 空試験	18

	ページ
9.6 検量線の作成 .....	18
9.7 計算 .....	20
10 ICP 発光分光分析法 .....	21
10.1 要旨 .....	21
10.2 試薬 .....	21
10.3 分析試料のはかりとり量 .....	21
10.4 操作 .....	21
10.5 空試験 .....	22
10.6 検量線の作成 .....	22
10.7 計算 .....	23
解 説 .....	25

## まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本伸銅協会（JCBA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS H 1052:2013** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

白 紙

# 銅及び銅合金中のすす定量方法

## Methods for determination of tin in copper and copper alloys

### 1 適用範囲

この規格は、銅及び銅合金中のすす定量方法について規定する。なお、銅及び銅合金の製品として、鋳造品、伸銅品、鋳物用地金及び鋳物に適用する。

### 2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

**JIS H 1012** 銅及び銅合金の分析方法通則

**JIS K 0211** 分析化学用語（基礎部門）

**JIS K 0212** 分析化学用語（光学部門）

**JIS K 0215** 分析化学用語（分析機器部門）

**JIS K 8005** 容量分析用標準物質

### 3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、**JIS H 1012**、**JIS K 0211**、**JIS K 0212** 及び **JIS K 0215** による。

### 4 一般事項

分析方法に共通な一般事項は、**JIS H 1012** による。

この規格で用いるビーカー、時計皿、ろつば、三角フラスコは、操作の目的に応じて、他の器具に置き換えてもよい。また、それらの容量についての規定は、一例であり、操作に支障がなく、分析値に影響がない限りは、変更してもよい。

### 5 定量方法の区分

すすの定量方法は、次のいずれかによる。

なお、日本産業規格に規定する銅及び銅合金について、合金番号又は種類の記号ごとの適用定量方法は、**表 1** による。ただし、新たな合金が合金番号又は種類の記号とともに日本産業規格に規定された場合は、